

ポレポレ東中野レイトショーにて、52作品一挙公開決定！

吉増剛造映像作品2006-2011

予告する光 gozoCiné

2011年7月30日(土)～8月19日(金) 毎夜21:00～ 52作品 21プログラム

撮影・編集＝吉増剛造／配給＝「予告する光」上映実行委員会

◆世界文学に未踏の領域を拓きつづける詩人、吉増剛造◆

日本を代表する詩人として国際的な尊敬を集め、今なお現代文学の最前線を走りつづける吉増剛造は、先鋭的な言語がその限界地点で言語以外のものと接する場所に絶えず身を置いてきた。60年代から始められた自作の朗読は、音楽や現代美術との多彩なコラボレーションを展開しながら未曾有の言語／身体パフォーマンスへと昇華し、世界各地で熱狂的な反応を呼び起している。また、80年代以降は写真家としての活動を本格化させ、国内外で個展や写真集の出版も多い。

◆50年余の詩的実践の涯に出現した〈未開の庭〉のキセキ◆

映画への深い造詣、そしてジョナス・メカスやアレクサンドル・ソクーロフら世界的な映画作家との交友でも知られる吉増剛造が、ついに自らデジタルビデオカメラを携えて特異な「ロード・ムービー」の制作を開始したのは2006年。程なくして「gozoCiné」と名付けられた作品群は、すべて詩人自らの手で撮影・録音・編集され、50年余に及ぶ詩人の軌跡を新たな角度から照らしだすとともに、「映画」に未踏の領域を開く試みとして、言語とイメージの現在へ苛烈な問いを投げかけている。

◆言語とイメージの根源へと下降する新たな旅が始まる……◆

武蔵野の古井戸からブラジルの蟻塚へ、エッフェル塔から大阪・通天閣へ、横田基地から熊野の浮島、アリゾナの砂漠へ……。所縁の土地を再訪しながら詩の根源へと螺旋状に下りていく旅は、同時に泉鏡花、萩原朔太郎、折口信夫、中上健次、島尾ミホ、ベケット、イエイツ、ツェラン、デュラス、デリダ、ドゥルーズらの言葉を多様に響鳴させる。そしてまた、「奥の細道」を辿る旅がカルナックの環状列石へ、柳田國男の「海上の道」がフランク・ロイド・ライトの「夢の建築」へと通じ、さまざまな領域を横断した光と物質の共振を開示する。

◆文学と芸術の現在を問う、至高のロード・ムービー集！◆

2009年2月には、シリーズ19作品を収録したDVD+Book『キセキ gozoCiné』(オシリス)が、まったく新しい「書物」への挑戦として刊行され、各方面で大きな驚きをもって迎えられた。さらに山形国際ドキュメンタリー映画祭(2009年10月)、恵比寿映像祭(2010年2月)などで、それぞれ数作が上映されたのに伴い、その反響は静かに広がりつつあり、映画館でのロードショー公開を待望する声も高まってきた。

◆予告する光、来たるべき映画の幕を開ける夏の夜の夢……◆

そして今夏、現在まで5年間にわたって制作された *gozoCiné* の全作品（52篇）が、ポレポレ東中野を舞台に新たな「映画体験」として、レイトショーで一挙上映される。各日4～10篇を組み合わせた日替わりの計21プログラムで、*gozoCiné* の世界に日々さまざまな対角線が引かれていくことになる。

吉増剛造（よします・ごうぞう）

1939年東京生まれ。慶應義塾大学国文科卒業。在学中から詩作を始め、第一詩集『出発』（1964年）以来、先鋭的な現代詩人として国内外で活躍。詩集『黄金詩篇』（高見順賞）、『オシリス、石ノ神』（現代詩花椿賞）、『螺旋歌』（詩歌文学館賞）、『「雪の島」あるいは「エミリーの幽霊』』（芸術選奨文部大臣賞）他多数。写真集『表紙』（毎日芸術賞）など。

「予告する光」上映実行委員会＝八角聡仁、濱治佳、金子遊、澤田陽子



◆YouTubeにて予告篇 on air <http://www.youtube.com/watch?v=14S8scyG-BU>
（吉増氏自ら編集の予告篇。「予告する光」で検索するとすぐにヒットします）

◆上映期間中のトークゲストや関連イベントの詳しい情報は、下記で随時告知いたします。

ポレポレ東中野 <http://www.mmjp.or.jp/pore2/>
「予告する光」Official Site <http://gozocine.info/>
「予告する光」Blog <http://gozocine.seesaa.net/>
「予告する光」Twitter @gozocine

◆チケット情報

当日＝一般1500円（大・専・シニア割引あり）

前売＝1回券1300円／3回券3600円／21日間フリーパス10500円

前売1回券、3回券は、ポレポレ東中野劇場窓口、チケットぴあ、渋谷ユーロスペース、オーディトリウム渋谷、渋谷シアター・イメージフォーラム、テアトル新宿、新宿武蔵野館、新宿 K's CINEMA、下北沢トリウッド、神保町岩波ホール各館で発売中。

◆お問い合わせ先

上映に関するお問い合わせは→ポレポレ東中野 (Tel. 03-3371-0088)

その他詳細、画像等資料請求等については→ gozocine@gmail.com / オシリス (Tel. 03-5485-0991)



【プログラム】

7月30日(土)

Program A 〈光のモアレの方へ〉

7作品/約54分+トーク

ホンマタカシ+吉増剛造+八角聡仁

- ・まいまいず井戸 - take I
- ・まいまいず井戸 - take II
- ・Na entrada da casa dos fogos (花火の家の入口で)
- ・エッフェル塔 (黄昏)
- ・Watts Towers——とうとうこうして海が亡びて行く、その歌としての貝殻の塔、……
- ・The Eyes——for Herman Merville
- ・アメリカ、沼澤地方、……

7月31日(日)

Program B 〈この世の一番下を吹く風は〉

6作品/約87分

- ・プール平
- ・阿弥陀ヶ池、折口さん——
- ・月山、一番下を吹く風
- ・物の音、恐山
- ・Carnac、^{アントル}“間に”
- ・Yeats Vision、アイルランド

8月1日(月)

Program C 〈始源の河原の方——〉

7作品/約76分

弁士(吉増剛造)出演あり

- ・鏡花フィルムI——プロローグ
- ・鏡花フィルムII——金沢篇
- ・鏡花フィルムIII——逗子篇
- ・鏡花フィルムIV——三尺角、水の駅
- ・朔太郎フィルム日記
- ・芥川龍之介フィルムI—Kappa
- ・芥川龍之介フィルムII—Kappa, Appendix

8月2日(火)

Program D 〈静かなアメリカ——〉

8作品/約83分

- ・まいまいず井戸 - take II
- ・千々に碎て——松島篇
- ・熊野、^{なぎ}柳の葉、……
- ・柳田さんの宝贝、カリフォルニア
- ・光の棘——Frank Lloyd Wright
- ・エミリー film
- ・Emerald Song
- ・アメリカ、沼澤地方、……

8月3日(水)

Program E 〈月裏の声〉

7作品/約86分

弁士(吉増剛造)出演あり

- ・Goya——予告篇、吉田喜重氏に
- ・Strasbourg、いけぶくろ
- ・^{とろす}萬、巨人の足音 - take I
- ・^{とろす}萬、巨人の足音 - take II
- ・^{とろす}萬、巨人の足音 - take III
- ・The Voice of (漆)——会津にて
- ・The Eyes——for Herman Merville

8月4日(木)

Program F 〈この絵馬を吊る空はどこかにないかしら〉

7作品/約87分

- ・クロードの庭
- ・阿弥陀ヶ池、折口さん——
- ・Silver Dog——大手拓次と若林奮に
- ・^{オシヨロ}忍路——北石狩衛生センター
- ・^{モッポ}木浦、nakedwriting
- ・芭蕉さん終焉——大阪
- ・沼澤地方(朔太郎)から新潟(金時鐘)へ

8月5日(金)

Program G 〈^{アントル}その間に吊るもの、その痕跡が〉

4作品/約60分+トーク

今福龍+吉増剛造+八角聡仁

- ・柳田さんの宝贝、カリフォルニア
- ・光の棘——Frank Lloyd Wright
- ・紅テントと軽いテント——唐十郎さん今福龍太さんに
- ・八戸、蟻塚——章伍さんと

8月6日(土)

Program H 〈詩ノ汐ノ穴〉

6作品/約64分+トーク

小林康夫+吉増剛造+八角聡仁

- ・プール平
- ・熊野、^{なぎ}柳の葉、……
- ・Goya——予告篇、吉田喜重氏に
- ・^{オシヨロ}忍路——北石狩衛生センター
- ・Carnac、^{アントル}“間に”
- ・エミリー film

8月7日(日)

Program I 〈この地上の下の地下河——〉

7作品/約92分

- ・鏡花フィルムI——プロローグ
- ・鏡花フィルムII——金沢篇
- ・鏡花フィルムIII——逗子篇
- ・鏡花フィルムIV——三尺角、水の駅
- ・物の音、恐山
- ・Yeats Vision、アイルランド
- ・Emerald Song

8月8日(月)

Program J 〈千々に碎けて〉

5作品/約84分

弁士(吉増剛造)出演あり

- ・千々に碎て——松島篇
- ・熊野、^{なぎ}柳の葉、……
- ・奄美フィルム——ミホさん追悼
- ・奄美フィルムII——静かなシマのとき
- ・^{モッポ}木浦、nakedwriting

8月9日(火)

Program K 〈耳の精霊への責任が生じていた〉

6作品/約91分

- ・千々に碎て——松島篇
- ・月山、一番下を吹く風
- ・最上川、象潟——奥の細道

- ・山寺フィルム——奥の細道
- ・尾花澤フィルム——奥の細道
- ・芭蕉さん終焉——大阪

8月10日(水)

Program L 〈分身が舞う〉

5作品／約85分

弁士(吉増剛造) 出演あり

- ・まいまいず井戸—take I
- ・Jakaranda——リオ、サンパウロ
- ・紅テントと軽いテント——唐十郎さん今福龍太さんに
- ・拈花瞬目——雪雄子と
- ・The Voice of (漆)——会津にて

8月11日(木)

Program M 〈夢の抜道〉

6作品／上映約78分

- ・柳田さんの宝貝、カリフォルニア
- ・光の棘——Frank Lloyd Wright
- ・Silver Dog——大手拓次と若林奮に
- ・芥川龍之介フィルムI—Kappa
- ・芥川龍之介フィルムII—Kappa, Appendix
- ・心中天の秋川、……

8月12日(金)

Program N 〈道路の遠近を忘れたり〉

5作品／約65分+トーク

鶴飼哲+吉増剛造+八角聡仁

- ・Na entrada da casa dos fogos (花火の家の入口で)
- ・奄美フィルム——ミホさん追悼
- ・Jakaranda——リオ、サンパウロ
- ・道路の遠近を忘れたり——津田新吾さんを悼みつつ
- ・心中天の秋川、……

8月13日(土)

Program O 〈刹那の眼〉

8作品／約83分

萩原朔美+吉増剛造+金子遊

- ・朔太郎フィルム日記
- ・道路の遠近を忘れたり——津田新吾さんを悼みつつ
- ・利根——朔太郎の
- ・赤城山——朔太郎の
- ・エミリー film
- ・沼澤地方(朔太郎)から新潟(キムシジョン)へ
- ・Watts Towers——とうとうこうして海が亡びて行く、その歌としての貝殻の塔、……

8月14日(日)

Program P 〈呼び出された、巨人の足音〉

5作品／約86分

- ・Strasbourg、いけぶくろ
- ・萬、巨人の足音—Take I
- ・萬、巨人の足音—Take II
- ・萬、巨人の足音—Take III
- ・最上川、象潟——奥の細道

8月15日(月)

Program Q 〈音の根——に下りて行く〉

5作品／約87分

弁士(吉増剛造) 出演あり

- ・まいまいず井戸—take I
- ・クロードの庭
- ・奄美フィルム——ミホさん追悼
- ・奄美フィルムII——静かなシマのとき
- ・物の音、恐山

8月16日(火)

Program R 〈岩に沁み入る蟬の声〉

5作品／約94分

- ・山寺フィルム——奥の細道
- ・尾花澤フィルム——奥の細道
- ・八戸、蟻塚——章伍さんと
- ・The Voice of (漆)——会津にて
- ・村への遊撃——及川廣信

8月17日(水)

Program S 〈水の底に吞まれて〉

8作品／約87分

弁士(吉増剛造) 出演あり

- ・まいまいず井戸—take II
- ・プール平
- ・阿弥陀ヶ池、折口さん——
- ・忍路——北石狩衛生センター
- ・Yeats Vision、アイルランド
- ・道路の遠近を忘れたり——津田新吾さんを悼みつつ
- ・利根——朔太郎の
- ・赤城山——朔太郎の

8月18日(木)

Program T 〈貝殻の塔〉

10作品／約90分

- ・Na entrada da casa dos fogos (花火の家の入口で)
- ・エッフェル塔(黄昏)
- ・クロードの庭
- ・Goya——予告篇、吉田喜重氏に
- ・Silver Dog——大手拓次と若林奮に
- ・月山、一番下を吹く風
- ・Jakaranda——リオ、サンパウロ
- ・Camac、“間に”
- ・芭蕉さん終焉——大阪
- ・Watts Towers——とうとうこうして海が亡びて行く、その歌としての貝殻の塔、……

8月19日(金)

Program U 〈アメリカ、沼澤地方へ〉

6作品+／約66分+トーク

朝吹真理子+吉増剛造+八角聡仁

- ・エッフェル塔(黄昏)
- ・木浦、nakedwriting
- ・心中天の秋川、……
- ・Emerald Song
- ・The Eyes——for Herman Merville
- ・アメリカ、沼澤地方、……

*毎週金曜・土曜には、作品上映後に多彩なゲストを迎えてのトークイベントあり。

*毎週月曜・火曜には、吉増剛造が生出演で自ら弁士を務める「裏声ヴァージョン」の上映あり